

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	0272101015		
法人名	有限会社サニーライフ		
事業所名	グループホームサニーライフ		
所在地	〒038-2501 青森県西津軽郡深浦町大字柳田字桜田34番地5		
自己評価作成日	令和元年10月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	公益社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	令和元年10月28日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

代表、管理者を中心に入居者様の安心と笑顔を求めて切磋琢磨してまいりました。お互いの得意な分野を活かしカバーし合い、アットホームな雰囲気の中、笑顔で過ごせるよう入居者様に寄り添い楽しい生活、楽しい仕事を心掛けています。自然に囲まれ四季の移り変わりを感じられる環境の中で、日々穏やかに過ごしています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】**

自然に囲まれ四季を感じられる静かな場所にある。リビングからは海が見え、日々の変化が感じられる。職員は理念の実現に向け、入居者が自分らしく、明るく、楽しんで過ごしていただけるようにと、日々コミュニケーションを大切にしている。事業所内も清潔感があり、アットホームで明るく落ち着いた雰囲気である。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所内にも掲示し、意識できるようにしている。また、判断に迷ったときや職員間での意見が一致しないときなどに理念に立ち返り即しているかどうかを基準にしている。	理念は毎日確認し、常に理念に沿ってケアに対する話し合いが行われている。また、地域との交流を持ち続けることも大切にしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育所・小学校・中学校より行事がある度に招待をいただいたり、地域でボランティア活動をされている方々と交流が持てるように働きかけ実践している。	地域の保育園、小学校、中学校との交流もあり、近所から野菜の差し入れをいただくこともある。また、地域の読み聞かせボランティアの訪問もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	慰問や外出行事、運営推進会議などを通してGHや認知症の理解を深めていただこう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、ホームの運営状況を報告しており皆さんからの意見や提案を頂きホームの改善に心掛けている。	家族へ毎回参加を呼びかけ、家族、行政、民生委員が参加し、2か月に1度開催されている。事業所の情報や空き情報等を伝え、紹介をいただいている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政担当者に、当施設の状況を相談したり、アドバイスをもらったりと協力していただいている。	日頃から事業所の相談や、申し込み、待機者の情報など、行政との連携もスムーズに行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないことを基本に職員が周知し、運営推進会議においても話し合いの場をつくり意見交換を行い身体拘束のないケアに努めている。夜間就寝前以外は施錠はしていない。	身体拘束について内部研修を行い、身体拘束の無いケアの実践に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行い、自分たちの日頃の関わりに虐待につながる危険が潜んでいないか等、振り返る機会を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、日常生活自立支援事業を活用している。社会福祉協議会の担当者が定期的にホームに来ていただいているので相談など話しあう機会がありアドバイスをいただいている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に不安や疑問点をお聞きしながら説明させて頂くように努めている。また改定時にはその都度お知らせし了解を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にはさりげない会話からご家族の想いを引き出せるように心掛けている。管理者に限らず職員が日常の様子を報告できる関係性が築けている。	面会時には入居者の様子を伝えつつ、家族の要望を聞き出せるように努めている。また、食事をしながら家族の意見を聞き出すような場を設けている。外部への意見受付窓口も説明されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月開催される定例会議や申し送り時に意見や提案を聴く機会を設けている。また入居者様との日常的な関わりの中から生まれる職員の気付きやアイディアは積極的に取り入れている。	職員からの提案などの意見も反映されやすく、設備的な面での提案なども、代表者、管理者へスムーズに伝えられ、改善につながっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談を行い、個々の実績や悩みなどを把握するよう努めている。それについて検討し、働きやすく、やり甲斐のある職場環境が作れるよう努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月違ったテーマで内部研修が行われ職員の学ぶ機会を多く作れるようにしている。外部の研修会にも参加できるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターが主催する会議に参加し他事業所の職員と事例検討、情報収集を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人、ご家族から情報収集を行い、その人の生活歴などを把握するよう努めている。本人の要望や新しい環境での不安を少しでも軽減できるよう安心確保に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面接時、ご家族の困っていることや不安に思っていることに十分耳を傾け良好な関係が築ける様配慮している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族からよく話を伺い今何が一番困っているのか、どの様な支援が必要なのかを見極め「その時」に合った支援ができるよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様に得意分野で力を発揮して頂き感謝すると言う関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	折に触れ電話やお便りなどで現状をお知らせしたり相談にのっていただいたりして、関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人が面会に来られた時は居室でゆっくりと話ができるよう配慮し、これまでの馴染みの関係が途切れないよう支援している。また、車でドライブがてら、ふる里巡りをしている。	家族や友人の面会もあり、居室でゆっくりと過ごしていただけるように支援されている。また、入居者の自宅や思い出の場所へ出かけるなど、これまでの関係を途切れさせないような支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が入居者の輪の中に入り、穏やかに会話が出来る環境作りを努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時には十分に相談に乗り、その後も連絡先を断ち切らないようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活の中の日常会話等から希望、意向を聞き出すよう心掛けている。また入居者様の表情や仕草から予想しアプローチを試みている。	日頃の会話から入居者の希望や意向を聞き出せるように努めている。また、職員間の話し合いや情報共有も理念に基づき実践されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴やサービス利用状況など初回面接時にご本人やご家族、ケアマネから話を伺い十分な情報収集ができるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々行っている申し送りや職員会議での入居者様のカンファレンスにて現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月の定例会議時に一人ひとりの入居者様の現状について話し合い、時にはご家族に相談しその後のケアの実践に繋げている。	日頃の様子などしっかりと記録に残し、出勤時、申し送りで入居者の様子について職員間で把握するよう努めている。毎月、入居者の現状について話し合い、介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルに日々の活動や食事量、体重、排泄状況、バイタルを記録し状況を把握している。職員間で情報を共有しケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時のニーズに対し、職員間で柔軟に話し合いご家族にも協力を得ながらサービスの提供に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人ができることを見極め、心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを送ることができるように努めている。町の文化祭にも出品し、施設の存在をアピールしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院の支援ではGHでの生活の様子やご本人の要望など医師に伝えている。体調に変化のある時は緊急受診をし、適切なアドバイスをいただいている。受診後はご家族に報告しており情報の共有を図っている。	受診の際は、本人の希望を職員が医師に伝えている。また、受診の結果は電話やメールで家族へ速やかに報告され、情報の共有が図られている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調不良の方が出た場合は、医療機関へ連絡を行い、状況・状態を報告し指示やアドバイスを受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の場合は必ず職員が同行し病院への情報提供やご本人、ご家族へのケアをするように心掛けている。また必要な治療が済んだ時点で退院させてもらってよいことを予め伝えている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所の出来ること出来ないことを説明し、病状が重度化した場合には、入居者にとって1番より良い方法を選択できるよう家族、主治医、地域連携室等と相談しながら今後の対応方針を決めている。	入居時に入居者の症状が重度化した場合について説明している。また、入居者の状態の変化に応じ、家族や医療機関などとも相談しながら対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の方から応急処置や救命救急等に関する講習を受けている。緊急連絡網や対応マニュアルを整備し、周知徹底を図っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年5月に町の防災訓練に参加している。自主的な訓練も計画し実施している。運営推進会議の中でも災害時の協力体制を得られるよう話をしている。	地域の防災訓練へ参加しており、2か月に1度は事業所での訓練を実施している。訓練の内容は参加できない職員にも共有している。防災グッズも入居者個々にまとめられ、玄関近くに用意されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格、思いを大切に、誇りやプライバシーを損ねることのないように支援し、安心、安全に過ごして頂ける様心掛けている。	入居者が安心、安全で楽しく過ごしていただけるよう、職員間で入居者の情報について共有や人権・尊厳の研修がされケアに反映されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉では十分に意思表示のできない場合でも表情や反応をくみ取り、自己決定できるような支援を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとり、その日その時のご本人の気持ちを尊重し、関わりを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	生活習慣や季節、好みに合わせてその人らしいおしゃれや身だしなみができるようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できる範囲で盛り付け、皮むき、根取り、片付けなどのお手伝いをさせていただいている。ご家族と外食に出かけたり誕生日にはケーキを食べたり、行事食も取り入れ喜んで頂けるよう工夫している。	入居者ができる範囲で、食事のお手伝いを職員と一緒にさせていただき、誕生日などのお祝いもメニューを工夫して楽しめるように工夫されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方の状態に合わせた量や切り方、栄養バランス、盛り付ける器にも工夫をしている。一人ひとりの食事量や水分量を記録し情報を共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の声掛けや見守り介助を行い、口腔ケアに努めている。夜間は除菌剤で消毒を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人が抵抗なくトイレに行こうと思えるような声掛けや一人ひとりのリズム、サインを見逃さないような支援ができるよう努めている。夜間はポータブルトイレを準備するなど環境も整えている。	プライバシーに配慮した排泄ケアが支援され、排泄のサインを見逃さないようにサポートされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促すため水分、乳製品、運動など工夫している。下剤も使用しながら排便のコントロールをしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	週2～3回の入浴を行い、心身の清潔だけでなく、リラックスし、コミュニケーションを図る機会と捉えている。入浴拒否の時にはタイミングを計り声掛けの仕方を工夫しながら支援にあたっている。	夏場は週3回、冬場は週2回の入浴となっているが、本人のタイミングに合わせて入浴していただけるように支援している。入浴ではコミュニケーションを図るように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムや体調に合わせて居室またはホールで過ごしていただいている。夜間は明るさなど個々に合わせて対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	配薬、服薬ともに漏れや誤りがないよう違う職員でチェックを行っている。服薬の変更時は送りや記録を通し職員全員が状況の確認が共有できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとり笑顔の出るタイミングは様々でその方の「嬉しい・楽しい」を暮らしの中で発見し職員間で共有し気持ち良い時間をより多く持っていただけるよう努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季折々全員で、桜やつつじ、銀杏の木など馴染みの場所に出かけている。また、買物に出かけたり日程を決めてドライブや外食に出かけている。	買い物や外食にも出かけているが、季節に応じ、桜やイチヨウなど楽しんでいただけるように外出先も工夫されている。入居者個々の馴染みの場所や思い出の地を巡るドライブも実施されている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い程度のお金については事務所で預かっている。買い物の際には財布を持って頂き、レジで精算できるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	よくご家族や姉妹から電話がかかってきたり、小包や手紙が届くので代読したりお礼の電話をかけている。毎年年賀状は家族や姉妹宛てに書いて送っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を大切にし、季節や行事に合わせたレイアウトを心掛けている。テレビや音楽の音量は、その時の状態に合わせるなどの配慮をしたり、ブラインドで光の調節を行っている。	季節を感じる飾りつけも、入居者と一緒に行われている。共用空間は落ち着いた雰囲気、ゆったりと過ごせる空間となっている。リビングの大きな窓も解放感がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席に配慮し、話の合う気の合う方で交流が持てるような配置にしている。部屋で懐かしの歌を聴いたり、ホールで新聞や本を読んだりテレビを観たり穏やかに仲良く過ごせるように雰囲気づくりをしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れた馴染みの道具を持ってきてもらうようお伝えしている。好きな花や家族の写真を飾ったり、くつろげるように雰囲気づくりをしている。必要な方はテレビやラジカセなども使用している。	ベッド以外の家具は、使い慣れたものを持って来ていただき、居室内も、入居者の使いやすいように整えられ手すりなども個々の使いやすいように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に自立した生活ができるようにバリアフリーとし、廊下や居室、トイレ、浴室などに手すりの設置をしている。安全な移動と転倒防止に努めている。		